第52号
2018.4.13

若狭町 議会だより

福井しあわせ元気国体2018

第73回 国民体育大会

織りなそう 力と技と美しさ

3月24日
三方五湖スマートIC
開通式典

もくじ

平成30年度当初予算 …… P2～P3
平成29年度補正予算・6月定例会の日程 …… P4
常任委員会報告 …… P5～P9
議決議案・賛否一覧 …… P9～P10
一般質問 …… P11～P13
視察報告・編集後記 …… P14

「はぴりゅう」と「ふくい梅じい」「わかさ梅ぼう」

平成30年度 当初 予算を可決

3月定例会

3月2日㊎～23日㊎

予算総額 163億9,744万円（前年度比1.9％減）

※一般会計、特別会計、企業会計の総額

一般会計　主な事業

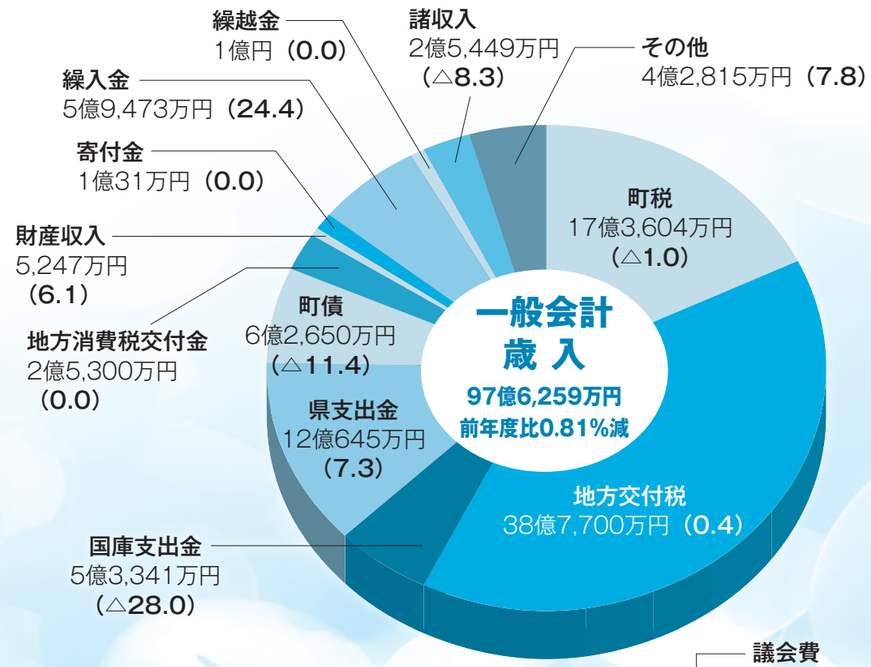
※千円単位は切り捨て

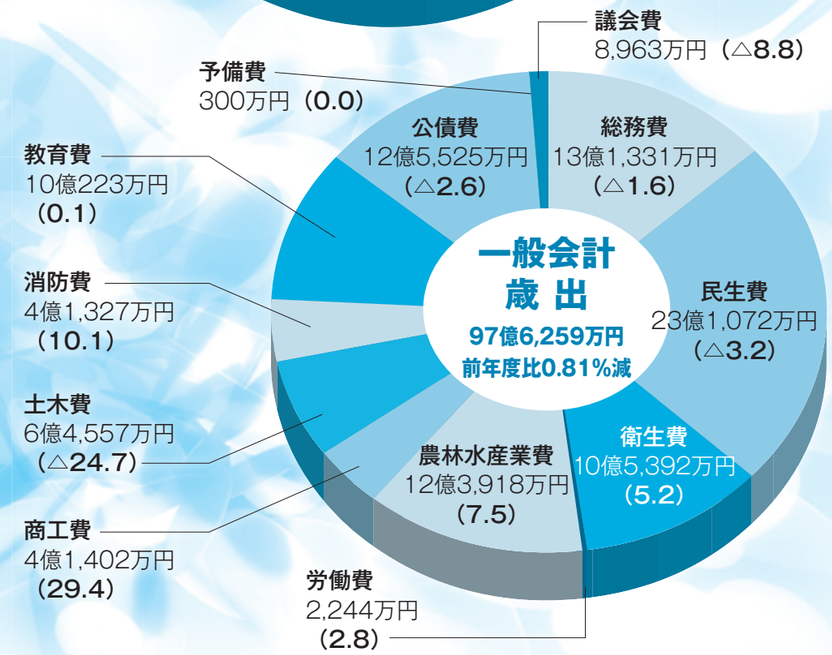
施設管理事業【総務課】	1,099万円	上中・三方庁舎の耐震診断
わかさチャレンジプロジェクト事業【総合戦略課】	1,050万円	若者の起業を支援
河内川ダム周辺整備事業【総合戦略課】	1,040万円	ダム周辺の景観整備
福井しあわせ元気国体推進事業【総合戦略課】	2,826万円	選手等のおもてなしを行う
消防事業費【環境安全課】	4億1,327万円	敦賀美方消防組合・若狭消防組合の運営経費
子ども医療費助成事業【福祉課】	4,465万円	乳幼児から中学生に対する医療費を無料にする
民間保育所運営事業【福祉課】	1億1,071万円	梅の里保育園・明倫保育園の委託料
公立小浜病院組合負担金事業【地域医療・介護センター】	2億8,384万円	小浜病院、レイクヒルズ美方病院への負担金
健康増進事業【保健医療課】	150万円	高血圧予防の減塩や運動を推進する
学校・保育所規模配置適正化事業【教育委員会】	199万円	学校等の規模配置の適正化計画を策定
給食センター費【教育委員会】	9,938万円	調理・配送等業務を民間事業者に委託
上中中学校改修事業【教育委員会】	2億1,464万円	学校施設の大規模改修

特別会計・企業会計当初予算

※千円単位は切り捨て

特別会計	予算額	増減（%）	特別会計	予算額	増減（%）
国民健康保険	18億2,167万円	△10.8	公共下水道事業	5億2,090万円	△7.6
後期高齢者医療	1億8,613万円	10.0	町営住宅等	3,380万円	△17.2
直営診療所	9,127万円	△3.6	土地開発事業	6,504万円	△32.8
介護保険	19億2,999万円	△1.7	**企業会計**	**予算額**	**増減（%）**
簡易水道事業	1億4,546万円	△4.2	水道事業	4億9,637万円	39.7
農業者労働災害共済事業	164万円	△11.4	工業用水道事業	6,671万円	△2.5
農業集落排水処理事業	4億1,416万円	1.1	上中診療所事業	7億9,594万円	△9.8
漁業集落排水処理事業	6,574万円	70.5			





※金額は万円単位で表しているため合計と一致しません。

※（　）内は前年度比較の伸び率で、6月補正肉付け後の比較です。（%）

3月定例会　開催期間 3月2日(金)～23日(金)

一般会計で5,461万5千円を減額補正

平成29年度の総額は 107億5,168万円に

一般会計　主な事業

（千円単位は切り捨て）

事業名	補正額
財政調整基金費（三十三工業団地、森林組合三方連絡所跡地の売払い収入を基金に積み立て）	4,572万円
観光宿泊施設管理事業（指定管理者納付金の増額見込分を積立）	939万円
除雪対策事業（事業実績見込みに伴い増額）	3,396万円
小学校管理費（小学校施設、遊具等の修繕など）	500万円
公民館総務事業（瓜生公民館屋上防水、三宅公民館の修繕工事）	358万円

主な歳入

◆町税……△900万円
◆財産収入……6,113万円
◆国庫支出金……△4,347万円
◆県支出金……△1,206万円
◆繰入金……△1,500万円
◆町債……△4,420万円

特別会計・企業会計

（千円単位は切り捨て）

会計区分	補正額	合計額
国民健康保険	△490万円	21億3,844万円
後期高齢者医療	1,132万円	1億8,049万円

会計区分	補正額	合計額
介護保険	△4,449万円	19億9,494万円
上中診療所事業	△1,254万円	8億6,980万円

平成30年 6月定例会の日程 【会期:6月5日～6月22日】

すべて傍聴できます。上程される議案の件数などの関係で予定が変更になる場合があります。
本定例会で扱う請願・陳情の受付は5月28日（月）17時締め切りです（議会事務局）。

■6月5日(火)9時 本会議開会
議案が上程されます。
直ちに質疑・討論・採決を行う議案もありますが、多くの議案は、審査を常任委員会に付託します。付託議案について付託すべき常任委員会を決定します。

■6月12日(火)9時 本会議
一般質問（理事者に対して議員が自由に質問します）を行います。（一般質問は翌日から行政チャンネルで録画が放映されます。）

■6月13日(水)9時 総務産業建設常任委員会
付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

■6月14日(木)9時 教育厚生常任委員会
付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

■6月15日(金)・6月18日(月)9時 予算決算常任委員会
付託された議案について質疑・討論・採決を行い、各議案に対する審査の結論を出します。

■6月22日(金)9時 本会議閉会
各常任委員会の委員長が、付託議案の常任委員会での審査結果を報告します。
その後、全議員によって、各議案に対する質疑・討論・採決を行います。

常任委員会報告

予算決算常任委員会

◆平成29年度補正予算

本委員会への付託議案は、一般会計補正予算及び特別会計補正予算の計7議案であり慎重に審査した結果、委員全員の賛成をもって、可決すべきものと決定。

○一般会計

主な質疑事項

問 町長及び町議会議員選挙費513万9千円の減額は、平成29年4月に選挙が行われており、9月時点で減額予算計上はできなかったのか。

答 今後は確定していれば、9月補正で計上したいと考えている。

問 給食センター費の賄材料費59万3千円の増額は、人数が増えたのか。

答 給食の回数が増えたため。

問 英語教育推進事業218万5千円の減額は、予定していたALTが入らなかったということか。

答 ALTについては1名である。支援員について当初予算では臨時職員2名で計上したが、パート職員4名で対応した。

問 縄文博物館費の施設管理事業307万8千円は、どのような修繕をするのか。

答 空冷チラーユニットの修理である。

問 観光宿泊施設管理事業で、水月花に939万8千円を積み立てし、合計額を3千6万2千円としているが、現在この額が積み立てできているのか。

答 平成28年度末残高であるが、1千857万482円である。

問 屋外観光看板整備事業に償還金を充てているが、初めてではないか。目的外に使用してはいけないなどの決まりがないのか。

答 今回の償還金については、同盟会の積立金である。快速鉄道の積立金とは別で、使用目的は限定されている。

問 除雪費について、国からの補助金は県に入ると思うが、若狭町に配分される額はいくらか。

答 除雪費の額は未確定であるが、若狭町でかかった経費は県へ報告している。

○特別会計・企業会計

若狭町国民健康保険特別会計補正予算
- 退職被保険者等療養給付費の増額、基金積立金の増額。保険財政共同安定化事業の減額。

後期高齢者医療特別会計補正予算
- 福井県後期高齢者医療広域連合への納付金の増額。

介護保険特別会計補正予算
- 居宅介護サービス給付費減額、歳出項目調整のための補正。

主な質疑事項

問 居宅介護サービス給付費3千万円の減額は、パレアと泉で18人以下になったので減額補正計上になったということであるが、ほかの事業所に移動したのか。

答 居宅介護給付費は18人以上の部分については居宅介護サービス給付費で支払いとなる。18人未満のパレアと泉は、地域密着型の居宅介護サービスの支払いとなるため、今回の減額補正計上した。

簡易水道事業特別会計補正予算
- 翌年に繰り越すための繰越明許費。

公共下水道事業特別会計補正予算
- 翌年に繰り越すための繰越明許費。

主な質疑事項

問 簡易水道事業もそうであるが、コンサル業務であると、追加は出てこないのか。

答 この業務については追加はない。

国民健康保険上中診療所事業会計補正予算
- 上中診療所改修工事の精算により減額。

主な質疑事項

問 改修工事管理委託料の603万円の減額は、当初計上した額について予想は甘かったのか。

答 工事についての監理費である。一週間に一度の会議を二週間に一度に変更し、経費削減で減額補正した。

◆平成30年度予算

本委員会への付託議案は、平成30年度一般会計予算および特別会計・企業会計予算の計15議案であり慎重に審査の結果、一般会計予算は委員多数の賛成により可決すべきものと決定。

特別会計及び企業会計14議案は、委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

但し上中診療所改修工事で、新たな追加工事予算の考え方を指摘する意見が出され、この議案に対し、附帯決議案が提出され全員の賛成をもって附帯決議を付すことに決定。

○一般会計

主な質疑事項

問 公債費の歳出で、総額約12億円の返済をするとしている。基金額は現在どのぐらいあり、来年度の基金はどのぐらい減るのか。

答 財政調整基金について、平成28年度末で6億8千286万6千円。平成29年度については、取り崩しもしたが、繰越金や3月補正でも積み直し等をしており、平成29年度末残高見込みは、約7億2千万円弱の見込み。約4千万円増額するが、今後の予算予定では、1億円を取り崩す予定としており、約6億1千万円になる。合併地域振興基金については、約10億円あったが、平成30年度に取り崩しをすると、平成30年度末残高で約2億5千万円になると予想している。

問 デマンドタクシーの運賃を300円から500円に値上げを検討しているということであるが、理由は何か。

答 コミュニティバスは、距離に応じて運賃は変わり、その一番高い運賃が500円である。西浦地域へのデマンドタクシーの話もあり、500円に合わせる検討をしている。滞在型観光推進事業で、逸見勘兵衛家の土蔵を改修するということであるが、改修費については、全て若狭町の業者に落ちるのか。

答 入札等で工事発注するので、なるべく町内業者を採用することを考えていきたい。

問 河内川ダム周辺設備事業の委託費に記念碑

設計業務とあるが、どのような記念碑を建てるのか。

答 地元住民の要望では、河内川ダムで出た石を使ったものを作りたいという要望が出ている。

問 町は、今まで約1千万円近くを農楽舎に支援をしていたが、平成30年度は600万円になったのか。

答 平成29年度との違いは、指定管理料350万円について、平成30年度は町からは出さないことになった。

問 霊柩車運転業務委託の129万6千円は、若狭町行財政改革プランにおける霊柩車運転業務について、削減にして業務をなくすのか。

答 霊柩車運転業務委託について、近隣市町では、若狭町と美浜町だけが霊柩車を所有し、運転業務を委託している。葬祭業者が全て行っている状況もあり、民間に委ねることも考えている。

問 法人税2千200万円の増額は、会社の業績によるものが増えたということか。

答 今回、大型企業の進出による増収を見込み増額とした。

問 多面的機能支払交付金事業の県支出金は1億568万8千円であるが、平成29年度予算と比較すると増額しているが、特別な理由があるのか。

答 平成29年度当初予算は、骨格予算として集落分だけを計上していた。6月補正で土地改良分も含めて計上しているので、平成29年度と規模については、ほぼ同じとなる。

問 あかちゃんスマイル事業の341万円は、紙おむつ等を購入した費用の一部を補助するということであるが、紙おむつ等は若狭町で購入した場合に補助するということか。

答 若狭町内で購入していただいた分の経費について、3万円を上限に助成をするものである。

問 平成30年度の文化祭は町が主催となるのか。

答 文化協会主催となる。

問 熊川で空き家を活用して整備する美術館について、完成はいつか。また、カフェは、平成30年度に工事をするということだが、運営についてはNPO法人若狭美&Bネットの方を中心に競合しないように運営をされると聞いている。最初は、週4日程度の営業ということであるが、美術館とカフェがセットで完成すれば、毎日営業されるようである。季節により、冬場はお客様が少ないので調整されるということである。

問 学校・保育所規模配置適正化事業について、これまで町長は「私の在職中は統廃合するつもりはない」との答弁であった。子供が減少傾向にあり、慌てて事業をしなければならないようになっているが、もう少し早期に取り組むべきではなかったか。

答 私は公約として、地域づくり協議会を作りながら、共存共栄で「みんなでつくるみんなのまち」を掲げ、その母体は小学校を1つの単位に、若狭町のまちづくりを作っていきたいと皆様に訴えてきた。しかし、児童数の減少があまりにも大きく、平成29年度は学校運営費と交付税額と約2千万円の差が出ている。慎重に進めるべきであるが、検討しなければならない時期がきたので、今回、この予算を計上した。

問 今回の行財政改革により、高齢者予防接種の助成額を1千300円から1千円に、成人保険事業のがん検診については、75歳以上の自己負担金を有料にしたということであるが、近隣市町と比べてどのような状況であるのか。

答 若狭町の接種料が1番高くなる。

○ 特別会計・企業会計

直営診療所特別会計

主な質疑事項

問 三方診療所の患者は1日平均何人であるのか。

答 30人である。

介護保険特別会計

主な質疑事項

問 償還金1千508万円は、パレア若狭の償還金とのことであったが、建物の償還金ということか。

答 パレア若狭内に介護施設を建設した際に、借り入れしたものである。

農業者労働災害共済事業特別会計

主な質疑事項

問 加入者は徐々に減ってきていると思うが、共済に何名の方が加入して運営しているのか。最終的にこの共済事業について廃止することは検討しているのか。

答 平成29年度実績で562名の方が加入されている。農地集積が絡んでくると、今後も加入者が減少してくると予想されるが、この制度については残してほしいという意見があり現在に至っている。今後の在り方については検討していきたい。

農業集落排水処理事業特別会計

主な質疑事項

問 平成30年度機能診断調査等は田井地区と遊子地区であるが、田井地区の処理場は、大雨が降り洪水になるといつも冠水するが、そのようなことも含めて、全体的な見方をして最適化をしていくのか。

答 田井地区は湖等の水位が上がると冠水する状況であるので、そのようなことも含めて診断を行い、次の最適化構想につなげて計画したい。

漁業集落排水処理事業特別会計

主な質疑事項

問 漁業集落排水施設建設費は、業務委託の分だけであるのか。

答 委託だけの予算である。

公共下水道事業特別会計

主な質疑事項

問 公共下水道施設管理費は、前年度予算と比較し1千590万4千円の約1割が減額になっているが、理由は何か。

答 平成29年度の工事請負費は、高く予算計上しており、この部分が減額になったということ。

町営住宅等特別会計

主な質疑事項

問 公営住宅管理事業の負担金は、天徳寺公営住宅を取り壊したが、転居をした2名分の家賃差額を、1年以上支払っているのではないのか。

答 大鳥羽公営住宅にも数名入居してもらっているが、入居できなかった方については、現在の上中コーポに入居していただいている。公営住宅として入居するということで、差額を町が負担している。

土地開発事業特別会計

主な質疑事項

問 一般会計繰出金の653万円は、繰り出しをしないで、土地開発会計の基金に積み立ててはどうか。

答 財政担当とよく相談をして、一番よい方向にしたい。

水道事業会計

主な質疑事項

問 熊川浄水場急速ろ過施設の老朽化による設備修繕工事は、3年間で8千万円ということか。

答 工事費の総額は1億5千万円を予定している。その内、1年目として8千万円を計上している。

工業用水道事業会計

主な質疑事項

問 今回、進出された工ィ・ダブリュ工業・若狭が稼働すれば、採算がとれるようになるのか。

答 会計上の収支としては、もう少しよくなると予想する。ただ、過去の未処分利益剰余金があるので、赤字にはならず問題はない。

国民健康保険上中診療所事業会計

主な質疑事項

問 三方診療所の倍ぐらいの患者数ということか。

答 そのとおりである。整形外科も入れて71人である。

総務産業建設常任委員会

本委員会への付託案件は議案15件。全議案、委員全員の賛成で可決すべきものと決定。継続審査の請願第6号は、委員全員の反対で不採択にすべきものに決定。

○若狭町空家等対策の推進に関する条例の制定について

主な質疑事項

問 条例に管理不全状態とあるが、具体的にどのようなものか。

答 例えば通学路で風が吹いたとき、破損して児童に当たるとか、家が傾いて他の家に被害を及ぼすおそれのある家屋。

問 空家等対策協議会を設置しているが、どのような状況か。

答 平成29年度は有識者会議で、計画を作るための会議を開催した。平成30年度以降は、この協議会を法定協議会として立ち上げ、進めていく。

○若狭町行政組織条例の一部改正について

主な質疑事項

問 1つの課に大きな負担がかかると、その課の職員が残業や休日出勤などの負担を強いられないか懸念する。業務量は以前と変わらないのに、課が減らされることによって弊害はないか。

答 各課の人数についてはギリギリのところだが、今回の行革による給食センターの民営化と図書館窓口の業務委託で、そこに配属していた職員を各課に振り分けた。また、総合戦略課については、イベントがあれば各室が横の連携を密にし、互いに協力していく。

問 歴史文化課が縄文博物館へ移動すると、歴史文化館や熊川宿にある文化財の管理は、どこが主体的に行うのか。

答 事務所が縄文博物館内に移動するだけで、歴史文化課の学芸員が従来どおり管理を行う。

○若狭町個人情報保護条例及び若狭町情報公開条例の一部改正について

主な質疑事項

問 近年、個人情報を悪用する事件が起きているが、職員全体が条例改正の内容を把握する機会はあるのか。

答 内容については、取り扱う課に周知している。窓口となる総務課が一括管理し、情報公開等の申請時には、確認をしながら情報を公開し、十分に気をつけていく。

○若狭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

主な質疑事項

問 臨時職員も育児休業を取得できるということだが、育児休業を取得している臨時職員はいるのか。

答 現在は、いない。

○原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について

主な質疑事項

問 施行期日を平成32年1月1日に決定した理由は。

答 企業側にも投資計画等の準備があるので、猶予期間を設けた。

○企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律に基づく町税の特例に関する条例の一部改正について

主な質疑事項

問 対象となる企業は町内に何社あり、減免の試算をしているのか。

答 企業立地促進法を適用している企業実績は、平成27年度は2社、平成28年度は2社、平成29年度は3社に減免している。改正されれば、1億円以上の投資が前提となるが、現時点で把握はできていない。

○若狭町企業振興条例の一部改正について

主な質疑事項

問 「農村地域での立地ニーズが高いと見込まれる産業」とは、具体的にどのようなものを指定しているのか。

答 今までは、工業・道路貨物運送業・倉庫業・こん包業・卸売業が対象となっていたが、今後はサービス業など、対象となる産業の業種が拡大される。

○農村地域工業等導入促進法の施行に伴う町税の特例に関する条例の廃止について

主な質疑事項

問 「地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置」が削除された背景は。

答 土地・家屋・償却資産について町が減免措置

を行うと、75％が交付税で補てんされる制度があったが、今回の法律改正で削除されたことにより、財政的な支援がなくなった。

○福井県市町総合事務組合規約の変更及び財産処分について（質疑・討論なし）

○財産の処分について（北前川区）
（質疑・討論なし）

○町道路線の変更について（質疑・討論なし）

○町道路線の廃止について（町道西部１３４号線）

主な質疑事項

問 この廃止路線に桜の木が植栽されているが、現状はどうか。

答 鹿による被害を受け、対策を講じたが被害は収まっていない。ただ、枯れてはおらず、新芽が出てくる傾向にあるので改めて網を高くし、様子を見ている。

○若狭町みかた温泉施設の指定管理者の指定について

・平成30年４月１日から平成35年３月31日までの期間、指定管理者に株式会社オーイングを指定

主な質疑事項

問 公募では、株式会社オーイングしか応募がなかったのか。

答 株式会社オーイングについては、以前より意欲的であったので、今回は公募ではなく、特命による選定とした。

問 施設使用受給者負担金として年間２４０万円を町に納付するということだが、どのように取り扱うのか。

答 積み立てをし、今後のリニューアルや大きな修繕に備えたいと考えている。

○嶺南地域有害鳥獣処理施設の指定管理者の指定について

・平成30年４月１日から平成35年３月31日までの期間、指定管理者に夢源建築有限会社を指定

主な質疑事項

問 物品などの納入方法については、指定管理者と納入業者との間で協議になると思うが、他の納入業者についても十分に配慮し、平等になるような方法をとるべきではないか。

答 納入方法や状況等を考慮し、指定管理者とも協議をしたいと思う。

○嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設の指定管理者の指定について

・平成30年４月１日から平成35年３月31日までの期間、指定管理者に有限会社音海興産を指定

主な質疑事項

問 食肉を扱う施設なので、食品衛生に関する有資格者の保有は必要ないのか。

答 指定管理者を受けるまでに、免許を取得すると聞いている。

○請願第６号「米の生産費を償う価格下支え制度」の創設を求める請願（継続審査）

主な質疑事項

意見１ 県内で不採択とした議会もある。減反制度の在り方が変化してきており、飼料用米への転作助成金の増額や、農家の減収を補てんするための収入保険制度も新設された。また、農地の大規模化を評価する政府の方針も出ており、全国規模で供給量が調整されている。

意見２ 収入保険は米農家にはマイナス効果であるが、野菜農家にとっては良いと思う。日本の１次産業である農業で米を作っているのは、個人や個人が営む法人、営農組合であり、収益性が非常に悪いというのが実態である。農業をされている方の多くが営利目的ではなく、所有している土地を守らなくてはいけない。あるいは、依頼されて米を作っているところがほとんどである。

教育厚生常任委員会

本委員会への付託案件は、条例の制定、一部改正、指定管理者の指定期間変更等計12件で、委員全員の賛成で可決すべきものと決定。

○若狭町社会福祉施設維持管理基金条例の制定について

主な質疑事項

問 五湖の郷から１千８００万円を納付いただいているという説明であったが、それはどこに入っているのか。

答 土地貸付収入の財産収入として納付いただいている。

問 パレア若狭の介護サービス施設も基金対象施設になっており、パレア若狭自体は別に修繕基金があるが、修繕に対する区分はあるのか。

答 パレア若狭の修繕に関しては、建物全体に係る部分であり、今回制定する基金条例は、建物の中にあるデイサービスの部分である。

○若狭町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

主な質疑事項

問 ケアマネと介護される方や家族と、マッチングがとれない場合があると聞くが、介護される方や家族がケアマネを選ぶことはできないのか。

答 サービスを受けられる方が、ケアマネを選ぶことができる。サービスを受けられる方と事業者との契約となるため、交代することは可能である。

○若狭町パレア若狭リラクゼーション施設条例の一部改正について

主な質疑事項

問 施設の管理を町がすることになるが、何をするか決まっているのか。

答 パレアの湯に関しては、現在のところ予定はない。カットハウスとマッサージについては、現在営業している業者と交渉をしている。

○若狭町児童館条例の一部改正について
（質疑・討論なし）

○若狭町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
（質疑・討論なし）

○若狭町国民健康保険基金条例及び若狭町国民健康保険条例の一部改正について

主な質疑事項

問 若狭町国民健康保険運営協議会の委員は、現在の委員のままで継続して委員会に入るのか。

答 現在のままの運営協議会の設置で行っていきたい。

○若狭町介護保険条例の一部改正について
（質疑・討論なし）

○若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

主な質疑事項

問 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」に、『日中・夜間を通じて定期的に訪問し介護を行う』という記載があるが、このことを実施している事業所は町内にあるのか。

答 実施している事業所は町内にはない。訪問看護に関しては、社協が実施している。

○若狭町教職員住宅条例の廃止について

主な質疑事項

問 この教職員住宅は取り壊す予定なのか。

答 取り壊す費用を30年度予算で計上している。

○若狭地区障害者介護給付費等支給審査会の共同設置について

主な質疑事項

問 第８条の負担金に、均等割30％、審査件数割70％との記載がある。これで計算をした場合、今までより若狭町の負担分は高くなるのか、安くなるのか。

答 高くなる。ただ、介護保険審査会の関係で、若狭町としての負担分、開催をしていた費用は安くなる。

○財産の処分について（大鳥羽区）

主な質疑事項

問 このような土地、建物について評価はしないのか。

答 この建物については、昭和58年に児童館整備事業補助金を受けて、実質は大鳥羽区公民館ということで稼働しているので、評価額については調査していない。

○若狭町国民健康保険介護サービス施設、若狭町国民健康保険生活支援ハウス及びパレア若狭リラクゼーション施設の指定管理者の指定期間変更について
（質疑・討論なし）

3月定例会　議員賛否一覧

議長は、採決に加わりません。
○賛成　×反対

賛否背景は各質疑事項（P5～9）をご参照ください。

議案等名＼議員名	採決月日	藤本武士	熊谷勘信	渡辺英朗	島津秀樹	辻岡正和	坂本　豊	今井富雄	北原武道	福谷　洋	清水利一	小堀信昭	小林和弘	松本孝雄	原田進男
平成30年度若狭町一般会計予算	3/23	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	―
「米の生産費を償う価格下支え制度」の創設を求める請願（平成29年12月継続審査分）	3/23	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	―

3月2日に採決され全員賛成で承認された議案

・専決処分の承認を求めることについて（嶺南地域有害鳥獣処理施設の指定管理者の指定期間変更について）
・専決処分の承認を求めることについて（嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設の指定管理者の指定期間変更について）

3月9日に採決され全員賛成で可決された議案

・平成29年度 若狭町一般会計補正予算（第5号）
・平成29年度 若狭町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
・平成29年度 若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
・平成29年度 若狭町介護保険特別会計補正予算（第4号）
・平成29年度 若狭町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
・平成29年度 若狭町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）
・平成29年度 若狭町国民健康保険上中診療所事業会計補正予算（第2号）

3月23日に採決され全員賛成で可決された議案

- 若狭町空家等対策の推進に関する条例の制定について
- 若狭町社会福祉施設維持管理基金条例の制定について
- 若狭町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 若狭町行政組織条例の一部改正について
- 若狭町個人情報保護条例及び若狭町情報公開条例の一部改正について
- 若狭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について
- 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律に基づく町税の特例に関する条例の一部改正について
- 若狭町パレア若狭リラクゼーション施設条例の一部改正について
- 若狭町児童館条例の一部改正について
- 若狭町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 若狭町国民健康保険基金条例及び若狭町国民健康保険条例の一部改正について
- 若狭町介護保険条例の一部改正について
- 若狭町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
- 若狭町企業振興条例の一部改正について
- 農村地域工業等導入促進法の施行に伴う町税の特例に関する条例の廃止について
- 若狭町教職員住宅条例の廃止について
- 若狭地区障害者介護給付費等支給審査会の共同設置について
- 福井県市町総合事務組合規約の変更及び財産処分について
- 平成30年度 若狭町国民健康保険特別会計予算
- 平成30年度 若狭町後期高齢者医療特別会計予算
- 平成30年度 若狭町直営診療所特別会計予算
- 平成30年度 若狭町介護保険特別会計予算
- 平成30年度 若狭町簡易水道事業特別会計予算
- 平成30年度 若狭町農業者労働災害共済事業特別会計予算
- 平成30年度 若狭町農業集落排水処理事業特別会計予算
- 平成30年度 若狭町漁業集落排水処理事業特別会計予算
- 平成30年度 若狭町公共下水道事業特別会計予算
- 平成30年度 若狭町営住宅等特別会計予算
- 平成30年度 若狭町土地開発事業特別会計予算
- 平成30年度 若狭町水道事業会計予算
- 平成30年度 若狭町工業用水道事業会計予算
- 平成30年度 若狭町国民健康保険上中診療所事業会計予算（付帯決議を付す）
- 財産の処分について（北前川区）
- 財産の処分について（大鳥羽区）
- 町道路線の変更について
- 町道路線の廃止について
- 若狭町国民健康保険介護サービス施設、若狭町国民健康保険生活支援ハウス及びパレア若狭リラクゼーション施設の指定管理者の指定期間変更について
- 若狭町みかた温泉施設の指定管理者の指定について
- 嶺南地域有害鳥獣処理施設の指定管理者の指定について
- 嶺南地域有害鳥獣食肉処理加工施設の指定管理者の指定について

3月23日に異議なく適任としたもの

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（若狭町　堤　　中村正人 氏）
- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（若狭町 田井　赤尾典子 氏）

一般質問

（文責：質問者本人）

清水利一　議員

若狭広域行政の推進について

清水　可燃ごみ共同処理施設を高浜・和田に建設を進め、4年後に稼働させるという報道について根拠地からその処理方式、規模、事業費など段階的なビジョンや全体の計画、手続き等が見えていない。推進計画は。

町長　3月末日の若狭広域行政組合議会で報告され、平成30年度から環境アセスメントや地質調査、発注のための仕様作成等の事業が進められる。

清水　4市町の比較調査の検討面や申し合わせ事項がどのような内容であったのか。

町長　嶺南地域は東西に長い地形であるため、焼却施設と中継施設を整備し、効率的、経済的な収集・処理ができるような仕組みで環境衛生施設を持ち合う事を申し合わせている。

清水　焼却熱の有効利用としての構想は。

町長　検討していく。

清水　リサイクル施設や埋立処分場の設置、エコクル美方の取り組み構想はどのような申し合わせで推進されるのか。

町長　リサイクル施設は当面、各市町で処理し、将来的には広域化に、最終処分場はいずれかの市町が受け持つことになり、エコクル美方は今後の運営方針や有効活用を美浜町と協議する。

清水　いずれにしても段階的に具体的な計画・詳細を示し、町内でも十分な事前検討、協議が必要不可欠である。

現在の高浜町清掃センター

昨年6月に陳情された場外車券発売施設建設反対について、あれからどうなったのか公表すべき

町長　監督省庁からは、業者からの動きなどは特段ないと伺っており、計画は前に進むことはない

場外車券発売施設の設置問題の終息について

清水　町内5団体から建設反対声明の陳情で、その後の省庁及び申請者からの反対と見極めは。

町長　議会からの建設反対意見書の提出により、両者の特段の動きもなく、前に進むことはない。

辻岡正和　議員

「高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」要点について

辻岡　今般の介護保険法改正により、保険者である町が、自立支援や重度化防止に取り組むため、地域の実情に合わせた地域包括ケアシステムを、深化・推進していくため、計画の中に、取り組み内容と目標を記載することとなっているが、計画の要点と、保険料がどうなるのか。

町長　平成29年に設置した在宅介護連携室により、在宅医療と介護を一体的に提供し、多職種連携研修を行い、認知症など高齢者を見守る組織強化をして、安心して暮らせる町にする。介護保険料は、5期の借入金の償還も終わり、6期の基金を勘案すると、保険料は、このままの6，160円の基本月額で据え置きとなる。今後、介護保険サービスだけでは高齢者の方々を支えていくのが難しくなるため、若狭町は、地域での見守り支え合う体制づくりに力を入れ、自立支援を進めていく。

第7期介護保険事業計画取り組み目標は

町長　地域包括ケアシステム構築に取り組んでいく

認知症施策について

辻岡　認知症は誰もがなる可能性のある病気の総称で、厚労省によると、7年後の2025年には、全国で認知症が700万人を超えると推計している。若狭町も今後ますます増える認知症の人に、医療、介護、生活支援施策をどうするのか。そして自分の家族が、認知症かもしれないと感じた時、最初に相談できる場所は、上中庁舎の福祉課でよいのか。

町長　医師、看護師、社会福祉士で構成される認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人や、家族に対して、包括的、集中的に、支援を行い、「認知症サポーター」の養成にも取り組む。認知症が疑われるときは、福祉課の地域包括支援センターに相談いただければ丁寧に対応する。

辻岡　地域包括ケアシステムの構築を確実に進めて、認知症になっても、安心して暮らし続けられる若狭町となるよう、努力してもらいたい。

今井富雄　議員

若狭町総合戦略の進捗状況は

町長　目標値の達成はできているが、実際の人口減少率とマッチングできていないのが現状

戦略目標に対する中間の実績値は

今井　人口減少に立ち向かうため、平成27年度から5年計画で取り組むとする若狭町総合戦略も中間点を過ぎたが、設定目標に対する進捗状況について問う。

町長　5項目の基本目標のうち、「広域連携化」を除くすべての項目において、設定した数値目標はすべて達成できている。

今井　道半ばにして、目標地点に到達できたということは、目標値の設定に見込み違いがあったともいえる。今回の結果を基に、更にステージアップするためのアクションをどのように考えているのか。

町長　総合戦略に位置付けている各事業を再度検証し、最終目標の「人口減少対策」「定住促進」をけん引する事業に集中して取り組む。

若狭町の人口移動状況は

今井　平成27年を基に、平成29年までの若狭町の人口移動はどのように推移しているのか。

総合戦略課長　出生と死亡の自然増減が394人減、転入と転出の社会増減が290人減で、合計684人減となっている。総合戦略目標換算では減少率約2.7%に止めるに対し、現状は4.3%となっている。

今井　先の総合戦略中間報告では、目標値をすべてクリアとの答弁であったが、この矛盾をどのように受け止め、どのように対処するのか。

町長　人口減少を少しでも抑制するよう、次世代定住促進協議会を中心に「住み続けてもらう」「新たに定住してもらう」ことを柱に推進すると共に、関係人口の創出に注力する。

学童保育料金軽減のための見直しを

今井　「若狭町の人口減少に立ち向かう」という総合戦略目標のもと、近い将来への先行投資手段として、保護者の子育て負担軽減のために、学童保育料の軽減ができないか。

町長　子育て環境の充実観点で、利用料金の軽減を検討する必要性を一部感じるが、関係委員会とも審議を重ね設定しており、現状を維持したい。

熊谷勘信　議員

三方五湖治水対策への取り組み状況と見通しについて

町長　治水対策となる放水路早期事業化を県に強く要望していく

熊谷　2月に入り、嶺北を中心に記録的な大雪となり、多くの方が犠牲となられた。また、あわら温泉等の観光地では、多くのキャンセルが発生した。今日の気象状況は、いつどの様な災害が発生するか見通せない状態である。

若狭町は福井梅の特産地であり、多くの方が梅栽培をされているが、もし、梅の収穫、集荷、出荷等の繁忙期に昨年の台風21号の様な豪雨が発生していたら、生産者の所得の減少、緊急車両の交通遮断や生活、生命、財産等の危機につながりかねない。そのようなことからも、一日も早いトンネル放水路の実現が必要と考える。今の取り組み状況と見通しについてを伺う。

台風21号被害状況

町長　県によると、早瀬川水系にかかる河川整備基本方針について、今月20日に学識経験者による「嶺南地域流域検討会」において、最終の協議が行われ、意見内容について国土交通省の同意を得ることになっている。方針が決定されると、トンネル放水路等の整備内容を明らかにする「河川整備計画」の策定に早々に取りかかる予定と聞いている。

計画策定の過程で、地域住民、地元関係者、自治体の意見を聞き、計画が決定すれば、地質調査、工事着手に向けられていくことになる。早期事業化に向け、県に対し強く要望を行っていく。

小堀信昭　議員

議会と住民軽視ではないか

総合戦略課長　説明不足についてはお詫びする

小堀　町の財政は非常に厳しく、財政改革プランが示され、3年間で年間3億円以上の財政効果を生み出すとあった。今回の財政改革は補助金のカット、減額が主で、その前に各事業の無駄遣い、計画の甘さを探しだし、もうこれ以上節約するところがないとなってから、一番簡単な住民に対する補助金カットを進めるべきとの思いで質問する。各種団体等には減額の説明があったと聞いたが「きららの湯」の町民入浴利用券の金額を示した、値上げのお知らせが行政チャンネルで放映された。多くの町民が利用している中、議会には金額、値上げに至る説明がなかった。施政方針にあった公聴機能のひとかけらもみられず、議会と住民軽視ではないか。

町長　健全財政の構築が急務であり、住民の皆様のご理解と協力を賜りながら着実に実施していく。

総合戦略課長　説明不足についてはお詫びする。

DMOに対して

小堀　若狭湾と海続きのDMOが台湾の観光客誘致を企画している。今後の対策は。

町長　若観連が中心になりDMOの必要性について議論している。そのためDMOの設立も検討していきたいと考えている。

林業振興にSDGsを取り入れないか

小堀　施政方針の林業振興で「意欲と能力のある経営体の育成を図っていきたい」とあった。山を守らなければ、根本的に河川災害は防ぐことができない。SDGsを利用できないか。

町長　先進事例も参考にしながら、持続可能な林業振興につなげて林業経営体の育成と併せて検討していきたい。

＊DMO…当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人

＊SDGs…持続可能な開発目標

北原武道　議員

町が示している「効率的かつ安定的な農業経営の指標」から外れる場合、認定農家になれないのか

農林水産課長　今年1月から多様な農業経営を柔軟に認定できるようになった

農林水産課長　経営改善に向けた意欲ある農業者であれば、年齢、性別、専業・兼業、経営規模、営農形態、組織形態等を問わない。「主たる従業者の一人当たりの年間農業所得が、概ね450万円以上」か否か、で判断する。

北原　『若狭町農業経営改善計画認定基準』にある「若狭町の農業振興に関する施策等に協力すること」とはどういう意味か。

農林水産課長　米の生産調整、農地の借り受け等に協力願いたい、という内容であるが、この「認定基準」も見直しを行う予定である。

北原　認定農業者制度運営の透明性を確保し、認定農業者の認知度を向上させるために

①本町の『農業経営基盤強化促進に関する基本的な構想』

②『若狭町農業経営改善計画認定要領』

③『若狭町農業経営改善計画認定基準』

④認定農業者の氏名を町のホームページなどに掲載するべきだ。

農林水産課長　①～③は公表する。④は認定農業者の意見を聞いて、検討する。

霞堤からの河川ゴミ、撤去は災害復旧費で

北原　昨年の台風21号で、北川の霞堤から流木、プラスチックなど大量の河川ゴミが田んぼに流入・堆積した。北川は国土交通省が管理しており、霞堤も国交省が作ったものである。ところが、ゴミの撤去に国の支援はなく、田んぼの耕作者が、多大な労力と費用をかけて、これを行っている。小浜市は、市独自に災害復旧の予算を組み、今回、霞堤から流入・堆積したゴミを撤去・処分する。ゴミ堆積の責任の一端は国交省にもあるので、撤去・処分について、国に災害復旧の支援を求めるべきである。

町長　北川の浚渫は、常に要請している。ゴミについても小浜市と相談する。相談して、共同で、支援を国・県に要請する。

議会だより 第52号　発行／若狭町議会 広報特別委員会　〒919-1393 福井県三方上中郡若狭町中央1-1　TEL.0770-45-9117

視察報告

Inspection report

教育厚生常任委員会 視察研修

【期　　日】平成30年1月16日～17日
【視 察 先】三重県名張市役所及び
　　滋賀県甲賀市役所
【出席委員】坂本委員、北原委員、
　　小堀委員、島津委員、
　　熊谷委員

【内容と報告】

◆三重県名張市役所

「地域づくり組織と地域包括ケアシステムについての研修」

地域づくりと一体的に地域福祉を推進し、地域住民の日常の生活圏に対する健康づくりの拠点として、市内15ケ所、市民センター単位に「まちの保健室」が設置されている。

主な活動は、健康教室や介護予防教室の開催、サロンなど地域活動の支援を行なっており、まちの保健室には、市の嘱託職員として社会福祉士や看護師などの有資格者が2、3名配置され、地域づくりと一体的な地域福祉の推進が行なわれている点は感銘を受けた。

◆滋賀県甲賀市役所

「甲賀市幼保・小中学校再編計画についての研修」

少子化の進行が著しい地域と人口の集中が進む地域の地域間格差が今後もさらに進むことが予想される中で、安心・安全な保育、教育環境の整備や教育課題への対応などを改善するための指針として策定された、「甲賀市幼保・小中学校再編計画」について研修を受けた。

計画では、～子どもたちにより良い保育・教育環境の提供をめざす～を目標に、幼稚園、保育所、小中学校の適正規模の検討が綿密に行なわれていた。平成27年度からの10ケ年計画となっているが、現在では、それぞれの地域で検討協議会が設置され、再編に向けて動き出している。再編に向けて検討が始まる本町にも大変参考となった。

編集後記

この冬は、嶺北を中心に一九八一年の五六豪雪以来となる大雪に見舞われた福井県。被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

一変して春の到来は早く、桜は例年より一週間ほど早く開花しました。観光の玄関口として期待される、三方五湖スマートインターチェンジが開通。三方五湖春まつりも開催され、春の観光シーズンの幕開けです。

今年は、50年ぶりとなる「福井しあわせ元気国体・大会」の開催、9月には県の年縞博物館が開館予定と、賑わいにつながる行事が目白押しです。

全国から多くの方に若狭町を訪れて頂き、交流人口が更に拡大し、活気溢れる一年になることを期待しています。

（渡辺英朗）